



TSUYUKUSA

第66号

## 「新年のご挨拶」

病院長 宮本 憲行

新年明けましておめでとうございます。戦争やコロナ感染症、円安等いろいろな問題は継続のまま2023年も始まりました。年末年始は降雪量が少なかったので過ごしやすかったと思われそうですが、1月10日の大雪とそれに伴う事故で、いとも簡単に札幌との交通が遮断される事態になり、異常気象の凄まじい影響力に驚くばかりです。



協会病院もコロナ感染症との共存を目指して、日々診療を行っておりますが、その感染力は未だ衰えを見せずに、翻弄されている状況です。職員は細心の注意をはらって対応しておりますが、現代社会のVUCAな状況の如く、課題が山積しております。

少し明るい話題としては、当初令和5年3月までとされていた呼吸器内科診療ですが、4月から週二回の半日だけの外来診療のみですが、再開いただけることとなります。以前のように潤沢な状況ではありませんが、少しでも小樽、北後志の呼吸器内科診療に

お役に立てればと考えております。卯年は跳ねるとのことですが、当院は理念である「患者様に寄り添い、良質で心の通った優しい医療」の実践をめざして、実直に一段一段 前進を目指して参ります。本年も引き続き何卒宜しくお願い申し上げます。



## マイナンバーカードの保険証利用について

医事課長 尾山弘晃

政府が、2024年秋に健康保険証を原則廃止し、マイナンバーカードの保険証（マイナ保険証）に一本化する方針を示しました。

マイナ保険証は、2021年10月20日から導入されている健康保険証で、氏名や住所をはじめとした詳細な個人情報が、ICチップ内に保存されており、オンラインで保険資格情報の確認ができるオンライン資格確認システムが導入されている医療機関では、保険証として利用することが可能です。このシステムは、2023年4月から医療機関等に導入が原則義務化され、現在当院も準備を進めております。



医療機関に設置された“顔認証付きカードリーダー”にマイナ保険証をセットし、カメラによる顔認証又は暗証番号入力によって本人確認を行うことにより、最新の保険資格情報が自動的に医療機関システムに取り込まれます。これにより受付におけるシステムへの入力作業や保険資格の確認作業が軽減され、またご本人の同意により、過去3年間の薬剤情報や過去5年間の特定健診等情報の閲覧が可能となります。高額療養費制度を利用する方の限度額区分も確認できるため、保険者に対する限度額適用認定証等の発行手続きも不要となります。

2022年11月末現在、全国の人口に対するマイナンバーカードの交付率は53.9%、保険証利用登録率は23.7%となっています。

当院での運用については次号でご紹介いたします。



顔認証付きカードリーダー（例）

## 3年ぶりの無料巡回診療

去る11月19日、仁木町銀山地区に3年ぶりの無料巡回診療で伺いました。私どもは社会福祉法人として社会貢献のためのいくつかの義務を負いますが、巡回診療は医療機関が無い地区を訪問して診療を行う社会貢献のための義務の一つとなります。

ここ2年間は新型コロナウイルスの蔓延やクラスターの発生などのため院外で診療を行うことを控えたため実施できずにいましたが、今回ようやく3年ぶりに仁木町銀山地区で実施することが出来ました。地域での人口減少のため受診される方も減少傾向ですが、しばらくぶりに元気な顔を拝見出来た方もいて、出かけて行った甲斐があったと思いました。

過去の巡回診療は、後志圏内町村の医療機関が無いいくつかの地区で実施してきた経緯があります。以前にお邪魔した地域では、病院受診のために朝いちばんに出発し、家に帰るのは夕方になるとの話をお伺いすることがあります。そして診療費よりも交通費

の方が高つくとの事。そのような方々の健康に巡回診療が少しでもお役に立つことができればと願います。



## 患者さま・ご家族と一緒に、『転倒予防・転落予防』

医療安全管理室 看護師 GRM 野上 博司

患者さまが入院する際に、職員より入院中の過ごし方についてお話しします。

入院生活を安全に過ごすため、患者さまやご家族も一緒にご協力して頂きたいことがあります。転ばないための転倒予防、椅子やベッドから落ちないための転落予防です。「自分は大丈夫」と思う方も多いと思いますが、人は「歩く」「立つ」の動作を行うことで、小児から高齢の全ての方に転ぶ可能性が発生します。転ぶことで、大きな怪我へと繋がることもあり、安全な入院生活を過ごして頂けるよう、いくつか転倒予防・転落予防についてお伝えします。

1.患者さま・ご家族から、ご自宅での過ごし方を教えて頂き、職員と一緒に転倒・転落が起こりそうな時間帯や動作を確認し、一緒に予防策を考え行ってみましょう。

2.ご自宅の中で、靴を履いて移動される方は少ないと思います。

入院中は靴を履いた生活のため、滑りにくく、普段から使うような履きやすい靴を使用して下さい。スリッパや履きにくい靴ですと滑ったり、脱げたり、つかかかったり、転びやすくなるからです。



3.床に落ちたものを取る時は、ベッド柵から体を乗り出したり、無理な姿勢で取ろうとせず、両足を床について、体制を整えてから取る工夫をして下さい。また、体調が悪い時や、ものが取りにくい位置に落ちた時は、遠慮なく職員にお知らせ下さい。

4.歩くことなど移動に自信がない時は、昼夜問わず職員と一緒にお手伝いしますのでご安心下さい。夜間消灯後は、薄暗いため廊下の床や、段差など見えにくくなります。また、眠剤の影響で、歩行バランスを崩しやすくなります。トイレ等で移動する時は、ベッドランプで足元を照らし、体を起こしてもめまいがないことや、足に力が入るか、靴は履けているか確認して下さい。病院内は移動距離が長いため、時間に余裕をもち準備して下さい。



患者さま・ご家族・職員と共に、転倒予防・転落予防を一緒に行ってみましょう。

## 職場紹介 『ハイケアユニット HCU』

看護師長 高橋 啓太

当院のハイケアユニット(以下 HCU)は 2012 年に開設し、今年で 11 年が経とうとしています。心筋梗塞や心不全をはじめとした循環器疾患や呼吸不全等の重症患者さんへの対応、肺などの呼吸器、消化器、婦人科の手術後患者さんの受け入れ、手術後管理を行っています。重症の患者さんに対しては、人工呼吸器、緊急人工透析、大動脈バルーンポンピング、体外式膜型人工肺(いわゆる人工心肺)などの機器を用いて、呼吸や血液循環能力が低下した患者さんへの集中治療管理を行っています。人工呼吸器は年間約 40名の患者さんに対応しています。



後志管内で集中治療を行う部署を持っている医療機関は、数ある総合病院のなかでも当院と小樽市立病院のみとなっています。そのため私たちは地域医療を守るために、集中治療と救急を担う役割に使命感をもって日々患者さんと向き合っています。

部署というものはモノではありません。まさにそこで働くヒトが部署を形成します。どんなに新築で素晴らしい建物と、最新の機器があっても医療現場で

状況を判断し、技術を活用できるヒトがいなければそれは無力です。しっかりと必要な知識と経験を積み、心に寄り添うことのできるヒトが、患者さんに安心を与えるのではないかと思います。命と向き合う現場だからこそ、患者さんに寄り添い「何かできることはないか」と考え、これからも使命に取り組んでいきたいと思っています。



## 職場紹介「画像診断科」

診療放射線技師 渡辺直輝

画像診断科では、診療放射線技師が単純 X 線検査(レントゲン)や胃バリウム、CT、MRI、マンモグラフィー、骨密度検査などを医師の指示のもとに行っています。職場検診の胸部写真やバリウム検査、けがなどで X 線検査を受けた方も多くいるでしょう。また CT や MRI 検査では体内を輪切りにしてさらに詳細な情報を得ることが出来、現在では診断や治療に欠かせないものとなっています。しかしこれらの検査（MRI 検査を除く）はすべて X 線を利用しており放射線被ばくを避けることが出来ません。今回はこの被ばくについてご説明したいと思います。



検査による放射線被ばくは「医療被ばく」と呼ばれ、被ばくを伴う検査は病気を発見するというメリットの方が、被ばくのリスクよりも十分に大きい時のみに行われます。検査で受ける被ばくは身体に影響が出ると言われている量よりもはるかに少ない量で行っており、身体への影響を心配する必要はありません。医療被ばくを恐れるあまりに検査を行わない場合、病気の発見が遅れる、適正な診断・治療を受けることができないというデメリットが生じる可能性があります。当院ではより安心して検査を受けて頂くために可能な限り被ばく量を減らすための対策を行っております。また2022年にCT、血管造影装置、一般撮影装置など多くの検査機器が更新され、さらなる被ばく低減が可能となりました。



実際の当院の検査による被ばく量を、【診断参考レベル 2020 年版(Japan DRLs 2020)】(全国の検査別による被ばく量の統計より低減目標値が定められ

一般撮影	被ばく低減目標値		小樽協会病院	
	入射表面線量 (mGy)		入射表面線量 (mGy)	
胸部正面 (100kV以上)	0.3		0.17	
乳児股関節 (0-1歳)	0.2		0.1	
腰椎正面	3.5		2.62	
骨盤正面	2.5		1.18	

たもの)と比較すると一般撮影の胸部写真で1/3程度、CT検査の胸部からおなか全体の検査で1/2程度の被ばく量に抑えられているのが確認できます。

CT検査	被ばく低減目標値		小樽協会病院	
	CTDIvol(mGy)	DLP(mGy/cm)	CTDIvol(mGy)	DLP(mGy/cm)
胸部1相	13	510	4.97	215.4
胸部～骨盤1相	16	1200	8.91	657.8
冠動脈	66	1300	38.9	910.5

これらの画像診断機器は高度な性能を持つ分、その品質管理がとても重要です。当院では装置メーカーによる定期的なメンテナンスに加えて、診療放射線技師が日常の品質保証を行うことによって、装置本来の性能を保持しています。当科スタッフは画像検査のプロフェッショナルとして、患者様の為に最大限の画像情報を提供できるよう、日々努力と研鑽を積んでいます。

## 「災害発生時のCSCA」

医療安全管理室 大塚裕仁

先日、暴風雪のため北日本を中心に各地で大規模な停電が発生していました。そのニュースを耳にして私は2018年の9月に起きた大規模停電、ブラックアウトを思い起し、あの時は混乱の中、北海道中でそれぞれが出来ることを頑張り、支えあって数日間を凌いでいたことを思い出しました。



大規模災害は起きて欲しくありませんが、もし起きてしまった場合に備えてここで「CSCA」という考え方をご紹介しますと思います。CSCAとは、C:コマンド（Command-指揮）&コントロール（Control-統制）、S:セーフティー（Safety-安全確保）、C:コミュニケーション（Communication-通信、情報の収集と発信）、A:アセスメント（Assessment-評価）のことで、災害時の対応手順を示しています。災害発生時の避難所運営でもこの考え方は使われますが、はじめのC、Command&Controlでは、組織だって活動するための司令塔を決めます。病院であれば病院長などですが、避難所などであれば町内会長とか学校長とかが司令塔となることが多く、司令塔に情報を集め協議し行動を起こします。次のS、Safetyは全員の安全を守ることを第一に考え行動することを意味しています。そして2番目のC、Communicationは外部との連絡体制を整備し情報を入手、整理、発信することを意味していて、非常時には情報を制することが特に重要となります。最後のA、Assessmentは入手した内外の情報とそれまでの行動の効果を評価し次の行動を決めていくことを意味しています。まとめると刻々と変わる状況を把握し評価、安全を守りつつ行動を決定し、平時に戻るまでの時間を凌ぐということになります。大規模災害が発生した場合には混乱し、何をどうすれば良いのか困る事態に陥るかもしれません。そんな時にはCSCAの考え方が役に立つのではないのでしょうか。



外来待合、病室でWifi(有料)をご利用いただけます

入院患者さん向け

## Hospital Pay Wi-Fi

### Wi-Fi インターネット接続サービス

超簡単！2つのQRコードを順に読み取るだけ！

ステップ1  
まずはWi-Fi接続



SSID / パスワードの入力不要  
簡単 Wi-Fi 接続

ステップ2  
オンライン購入ページへ



利用期間が選べる  
オンライン決済へ

QRコードを鏡取りできない端末の場合

①Wi-Fi接続

Wi-Fi接続画面で下記SSIDを選択し、パスワードを入力してください。

SSID: Hospital Pay Wi-Fi / パスワード: hospitalpaywifi

②ブラウザでURLを入力

Wi-Fi接続確認後、ブラウザで下記URLを入力して下さい。

オンライン購入ページURL: <http://qr24.jp/hpw/>

**Wi-Fi 接続可能時間：起床時間～消灯時間**

※病院により、ご利用時間等が変更になる場合があります

病院職員は、Wi-Fiのご利用方法・不具合等に関するご対応が出来ません。  
[Hospital Pay Wi-Fi サポート窓口：03-4346-4977（平日9：00～17：00）]

外来患者さん向け

## Free Wi-Fi

### 無料 Wi-Fi ご利用いただけます

ステップ1  
まずはWi-Fi接続



Wi-Fi接続を確認



ステップ2  
インターネット接続



**Wi-Fi 接続可能時間：診療時間内**

※病院により、ご利用時間等が変更になる場合があります

QRコードが読み取れない場合、下記情報を手入力してください

SSID: Hospital\_Free\_Wi-Fi

パスワード: hospitalfreewifi

インターネット接続URL: <http://qr24.jp/hpw/>

※1回の接続につき、60分利用できます。  
※連続する3日間で3回まで接続できます。

病院職員は、Wi-Fiのご利用方法・不具合等に関するご対応が出来ません。

チケット種類	料金
1日	250円
1週間	1,000円
2週間	1,800円
4週間	3,000円

Wi-Fi接続可能時間：起床時間～消灯時間

編集後記：年が変わっても相変わらずコロナ感染に関するニュースが尽きることはありません。各国で行動制限の緩和が進み、当院の周辺でも外国語を耳にする機会も多くなってきましたが、無条件で楽しむにはもう少し時間が必要なのかなと思います。何の心配もなくどこでも移動できる時が早く来ることを祈りつつ、良い年になってほしいなと心から願います。(0)

当院の“駐車場出入口”が変更になっています。



病院山側道路      病院海側道路



昨年末より当院の駐車場入口が山側道路（住吉神社側）へ、出口は海側道路に変更となっております。なお引き続き「小樽市立病院駐車場」もご利用いただけます。詳しくは当院HPをご覧ください。

小樽協会病院広報誌“つゆくさ” NO.66  
 発行：小樽協会病院広報委員会  
 発行日：令和5年1月  
 発行人：宮本 憲行  
 編集人：大塚 裕仁